

平成28年度みきっ子未来応援協議会 第2回子育て環境部会 議事録

1 日時・場所 平成29年1月14日(土) 14:00~16:00
三木市役所5階 大会議室

2 出席者

<委員 6名> 【部会長】 稲見秀行
※敬称略 【委員】 八木和子、浅和直子、岡本典子、
神吉知子、丸畑護

<事務局 3名> 【こども未来部】 永尾勝彦(部長)
【こども未来部】 [子育て支援課] 井上典子(課長)
濱口明子(主査)、中西進(主任)

<遊具メーカー 3名> 【大久保体器㈱】 安田透(代表取締役社長)
安田美江子(取締役常務)
[設計課] 梶井晴加(企画デザイン)

3 開会

4 あいさつ ことども未来部 永尾部長
第1回子育て環境部会として姫路市の公園に整備事例の視察に行っていた。

設計・施工は、プロポーザル方式(※)に参加した4社のうちから、大久保体器株式会社(岡山県)に決定した。

今日は、午前中に市内の14小学校の代表(各校2名ずつ)から、色々と意見をいただいたという流れで、この場を迎えている。

子どもたちの意見もさることながら、この部会でもご意見を伺い、3月末までに設計を、工事は4月から着工して10月に体育館と同時にお披露目したいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

※設計や工事を行う業者を決定するには、市が設計金額を算出し、最も安価な金額を提示した業者を選定する「競争入札」と違い、各参加業者から独自の整備プランを募って、その内容を評価して設計・施工の業者を決定する方法をプロポーザル方式と言う。

○会議進行についての説明 事務局(子育て支援課)

この後、設計・施工について三木市と契約を締結した大久保体器株式会社から、三木山総合公園に整備する遊具についての説明を行っていただく。

その後、説明を聞いて感じられたこと、もう少し改良したら良いと思うことなど、大人として、保護者としての視点を加えて、ワークショップ形式でディスカッションをしていただきたい。

基本コンセプトは、子どもたちの心に残る遊具、施設を作っていきたいということで、子ども達が小さい時に、お父さん、お母さん、お祖父さん、お祖母さん達と遊んだ楽しい思い出が、大人になってもいつまでも心に残るような、レガシー（心の遺産）を作っていたきたいという思いで、提案のような内容とさせていただいた。

今回、多世代交流施設ということで、どういうコンセプトを考えたら良いかを社員から色々と意見を聞き、子どもたちに身近な童話からヒントを得ようという話から「ピノキオ物語」を設計コンセプトとして決定した。

登場人物のゼペット爺さんが孤独な毎日を過ごすなか、木製の人形、ピノキオを作り、そのピノキオが突然動き出して、ゼペット爺さんの孤独な心を慰めたというお話。

ピノキオが人間の子どもの意識を持ち、色んな子ども達と交流を持つために、大型複合遊具を1つの大きな街と見立て、展望広場の展望デッキをピノキオの家として、その家から2本のローラーすべり台で街へ入っていくというような形をとっている。

中世の城下町をモチーフにして、おもちゃのキャラクターを散りばめた大型複合遊具に飛び込んでいくという流れで、そこで色んな人と交流を持っていただき、様々な年代の人と遊んでいただけて楽しい1日を過ごしていただくという形で基本設計を行った。

遊具等の配置については、大きい子ども達と小さい子ども達がぶつかったりすることが無いような遊びの空間を作りたいということで、年代別に分けて設置している。

弊社はISO9001という基準で品質管理を行っており、安全基準については、弊社は日本公園施設業協会の認定工場でもあるので、国土交通省の遊具の安全に関する規準に則って設計・施工を行っている。

また、設計から一連の工程を全て自社で行っているため、一定した管理で安心したものをお届けできていると思っている。

創業66年の遊具メーカーで、弊社の過失による遊具事故は現在まで起こっておらず、社員1人ひとりが丁寧なモノづくりを原点としているので、細部に至るまで細かい配慮で遊具を作っている。

遊びの中で、子ども達は安全ばかりではなく、判断可能な危険とか事故を予知、回避する能力も育てていただきたいと考えているが、遊びの価値とは関係なく発生するような危険性、子ども達が予測できないような危険性は必ず適切に排除しており、安心していただける遊具の証であるSPマークも付けており、一貫した安全性も考慮している。

年齢差のある子どもが一緒に遊ぶということは、譲り合ったり、かばい合ったりと情緒的にはすごく良い面があるが、体力や身体の大きさも違うため、落下や衝突に十分な配慮をしようと考えたら、やはりそれぞれの体力、背の高さ、年齢に合った興味のある遊びというものを前提にエリア分が必要になる。

展望広場も含めた高低差のある敷地環境を利用して、多世代交流に適切な遊びスペースを提案したつもりである。

*** 図面を用いた配置等の説明 ***

6 議事 多世代交流拠点の整備について（遊具メーカーからの説明を聞いて）

【議論のすすめ方について】

稲見部会長

全体的な遊具の配置を含め、どのような遊具があるのか、皆さん今日初めてご覧になられたと思いますので少し時間をとって、今のご説明に対する質問を先に行っていただき、説明に対する確認とか、不明なところについて先に消化したい。

【質疑応答】

質問 二つのすべり台があって、子ども達が滑り降りてきて、もう1回滑りたいとなると思うが、道を渡る必要があるので安全性はどうか。

回答 上の1本目のすべり台の横には、展望デッキに続く石の階段があるので、それを利用していただき、2本目を滑り下りた大型複合遊具の場所からは、管理用道路を渡って、展望広場の上へ続く階段や斜面から登っていただくことになる。（大久保体器株式会社）

質問 滑り終わった子どもたちが自然に上に通れる、通りやすい道はあるか。

回答 新しく動線を作るのはスペース的に難しいので、既存の階段等を使っていただくしかないが、足腰や体力の強化になるのではないか。（大久保体器株式会社）

質問 すべり台が跨いでいる道が、普通に自動車が往来する道かどうか心配。

回答 これは管理道路なので、一般の自動車が頻繁に通るような場所ではない。（大久保体器株式会社）

質問 1～6歳の遊具エリアとターザンロープがある場所の間に通っている道路があると思うが、午前中の小学生ミーティングの傍聴で、隣に座っておられた保護者の方と、自動車が通るならちょっと危ないね、困るねという意見があったが。

回答 その場所も管理道路なので一般の自動車の往来はない。（大久保体器株式会社）

質問 公園利用者が自動車で通らないですか。

回答 野球場や陸上競技場の利用者も、体育館前等の駐車場に停めて歩いて行くので、管理者の車両が通る程度。（大久保体器株式会社）

質問 先ほどの質問に関連するが、その管理道路を渡る時に、どこでも渡って良いのか、横断歩道みたいにラインを引いて、必ずここを通りましょうというようなスペースを作っていただけるのか。

たまたま通りがかった管理者の自動車とぶつかってしまうという可能性もゼロでは

ないと思う。

もちろん親が目を離してはいけないと思うが、通っても良い場所とイケない場所を分けると親として安心だと思う。

回答 大型複合遊具を設置する敷地の桜並木沿いと、その反対側に建設中の仮称三木市立総合体育館の前の駐車場側には、それぞれ子ども達が転落や飛び出しが無いようにフェンスを設置する予定だが、そのフェンスのどこを開けて、子ども達が横断する場所や、路面表示についてもどのようなものが出るかについて、安全に配慮しながら大久保体器株式会社と事務局で検討したい。(事務局)

【発言内容について】

稲見部会長

本日の会議はグループワークだが、進め方を整理しておきたい。

遊具の安全性については度外視で議論したい。創業66年で、一から自社で遊具を作りあげていくという遊具メーカーの大久保体器株式会社なので、安全性については、我々は分からない部分が多いと思うので、そういった時間は省かせていただこうと思う。

ただ、少しこの部分にこんな変更を加えることで面白くなるとか、昔の遊びをこの辺りに取り入れたらとかがあれば発言していただきたい。

意見 昔は遊び道具が無いので、自然を利用した遊びをしていた。

意見 高い場所については転落防止の柵があったりするが、その柵に腕が挟まったりしないのか少し心配。

回答 今回、設計している柵も、遊具の安全基準の中で、柵の幅は10センチ以内になければならないと、日本公園施設業協会の規準が設けられている。

そういった安全のための規準ができてから約20年近く経過しており、最近では外国の規準より日本公園施設業協会の規準の方が厳しく、それに則った製品づくりをしているので、子ども達が予測できない危険というのは除去している。(大久保体器株式会社)

質問 姫路の公園に整備事例の視察に行った時に、木登りできる遊具があったと思うが、今回の設計の中にそういうものは無いのか。

意見 私も視察に行ったが、木登りできる遊具がとても良かったと思っている。子どもに木登りをさせて遊ばせてやりたいが、本物の木に登らせるということは難しいので、腕の力、足の力を鍛えたり、バランスを取ったりと、子どもが成長していく時に、達成感もあるので木登りは良いと思う。

降りられる高さまで登るという危険予知の観点からも、是非、木登りさせられる遊具があったらいいなと思う。

回答 姫路の公園にある木登りできるようなものが危険だという意見もある。落ちた場合に、コンクリート製の木の枝が広がっていて、頭を打つ可能性があるのではないかと。あれは、その公園が整備された初期段階からあったもので、モニュメント的に置いておきたいとの意向で残しておられ、遊具の位置づけではないと聞いており、コンクリート製の遊具は全国的に撤去されていく傾向にある。(大久保体器株式会社)

質問 木登りに代わる遊具は何があるか。

回答 今は、ロッククライミング、ボルダリングとか、学校によくある登り棒とかはたくさん製造している。(大久保体器株式会社)

意見 孫の世話をしていた時に、小野市のひまわりの丘公園へよく行った。

回答 あの公園も私どもが作らせていただいたが、子どもたちのリピート率が高い遊具を作ろうということで設計・施工を行った。(大久保体器株式会社)

意見 子どもに対して夢があると思う。

ターザンロープは何回も利用して、子ども達が20人ほど列をなして待っており、人気があるので滑ってきて着地する場所などは土が削れたりしているが、子どもたちはその場所を上手に乗り越え、子ども同士で安全に注意して遊んでいる姿が見られ、すべり台も、何回も何十回も利用して楽しんでいて良いと思う。

ひまわりの丘公園に行きながら、三木市に早くこんな遊具が欲しい欲しいと願っていた。

回答 今回の遊具も、何回もリピートしていただける公園になると思う。(大久保体器株式会社)

質問 展望デッキの柵の高さはいくらか。

回答 柵の高さは建築基準法に則った高さとして、デッキの高さが2m以上に対する柵の高さは1.1mとなっている。(大久保体器株式会社)

質問 小さな子ども達が展望しようと思ったら、少し柵の高さが高い感じか。

展望デッキの真ん中に、その高さをカバーするような踏み台は考えられないか。柵のそばに置くと危険なので真ん中に。

小さな子どもと保護者が一緒なら抱っこしてもらったりして、景色が見えると思うが、子どもだけでは景色が見えないと思う。

回答 設計で何らかの配慮をしたい。(大久保体器株式会社)

意見 作られた時は、すごく夢があって色彩的にも綺麗で、夢の国へ来たような遊具も、10年、20年経ってきて変質、変色して人も寄らない場所にならないようにして欲しい。

回答 以前の遊具の塗装は、溶剤といってペンキを溶かして吹き付け、焼き付け塗装という方法であったが、最近では粉体塗装という方法で、塗膜が肉厚で堅牢になっているので、発色も良く耐久性も上がっている。

小野のひまわりの丘公園の遊具の塗装は溶剤で13年経っているが、まだ一度も塗り替えはしていない。(大久保体器株式会社)

【論点整理】

稲見部会長

限られた時間で議論していくので、3つ程の視点を定めたいと思う。

①遊具の配置が分かる平面図を使い、子育て環境部会として、子ども達の動きと、親の見守りが、この広いエリアでどう影響があるか。

②先ほども話に出ていたように、リピート率の高い、価値ある公園として、今までの公園に無い価値観を付加するにはどうしたら良いかという視点。

③天候条件も含めて、長時間の滞在が可能な公園環境について。

以上の三つの視点で話を進めて行きたい。

質問 先ほどからひまわりの丘公園の話が出ていて、実際に自身の子ども達も小さいころによく遊ばせてもらったのと、家の近所には県立防災公園があるが、防災公園はただっ広いところに、まばらに遊具がある。その両方で遊んでみて、ひまわりの丘公園と防災公園の違いは何かと考えると見通しだと思う。

ひまわりの丘公園は遊具が沢山あって、遊具の向こうが見えず死角になる場所があり、我が子はどこだろうと見失うことがあったが、防災公園は東屋からでも見通しが良く、座っていても子どもを見失うことがない、そのような違いがあって、それぞれに良し悪しがあると思うが、今回の遊具の設計で、そういった見通しについての対策はどうなっているか。

回答 今回の遊具の設計では遊具の中が見えて、視認性が良い設計としている。

年齢別でエリア、遊具を分けており、大型複合遊具は6～12歳までの子どもさんが遊ぶ遊具なので、お母さん方が外から見ていて「危ないよ！」などの声掛けが届くようになっていると考えている。(大久保体器株式会社)

質問 2本目のすべり台を降りてきた辺りに東屋があるが、その辺りから大型複合遊具の反対側までどのくらいの距離、何メートルくらいあるか。

回答 設置スペースは横に29m、縦は21m。(大久保体器株式会社)

*** イラストを囲んでディスカッション ***

【大型複合遊具の補足説明】

大久保体器株式会社

現在、大型複合遊具のすべり台などは陸上競技場側を向いて滑り降りる構造になっており、反対側の背面は何も無い状態。

これは、午前中の小学生ミーティングでも参加の小学生から指摘があり、市からも事前に検討するように言われているが、三木山総合公園の前の一般道（市道三木山幹線）や公園の進入口から入ってきた時に、大型複合遊具の背面は楽しそうな遊具が見えないので、視認性を確保しながら、どの角度から見ても楽しそうな遊具が見えるように、配置を少し変更することを検討している。

質問 大型複合遊具は6歳～12歳が対象になっているが、ここに対象年齢より小さな子どもが来た場合はどうするのか。

回答 年齢制限の表示をするので、対象外の小さなお子さんが利用される際は、保護者の付き添いが前提となる。そういった注意看板を設置をして、遊ぶときのルールを確認してもらう。（大久保体器株式会社）

質問 大型複合遊具の中は、大人が入っても大丈夫な大きさか。

最初に利用する時、1～2回は一緒に付いて行かないと心配だとか、お兄ちゃんが行くから下の子どもも行きたいと言う時などに大人が付いて行くと思う。

回答 概ね大人も入っていただけるスペースはあると思うが、よく事故が発生するケースとして、お祖父さんなどが足の中に子どもさんを座らせて、すべり台などを滑っておられるが、滑り降りて着地した時に、勢い余って子どもさんの上に覆いかぶさるように倒れ込むような事故が発生するので、そのような遊び方は注意していただく必要がある。子どもさんの後ろから追従するような形で滑っていただくのが良いと思うが、ローラーすべり台は、最後の1.5m程度は減速部を設けている。（大久保体器株式会社）

質問 雨宿りできる場所が少ないのではないか。

意見 来場者数の予測を立てて、屋根付きのベンチの必要数を検討しなければならないと思うし、滞在時間を長くしてもらおうと思ったら、食べられる場所とトイレは必要だと思う。

回答 トイレは陸上競技場、建設中の体育館、野球場の横に既設のものがあるので、今回の工事でトイレの新設は考えていない。（事務局）

回答 子育て中の母親の立場では、直射日光が嫌だと思うので、社内でテントなども検

討したが、大きなものを複数設置していくと、それだけで何千万というお金をテントに消費することになるので、テントも大切だが、やっぱり遊具に力を入れたいということから、全天候型としての遊具は企画提案の中から消えていった。(大久保体器株式会社)

意見 ピクニックみたいなイメージで、芝生の上でレジャーシートなどをひいて、お弁当を食べるなどはどうか。

意見 価値観の付加として「あそこの公園は親に優しい」と言うことができれば良いイメージが出来上がるかも。

意見 運動会などでよく見るテントを3～4か所に設置している公園もある。(大久保体器株式会社)

意見 持ち込んだテントやシートを使用可能なエリアを設定して、案内看板で分かりやすく示せば、親に優しくなると思う。

質問 体育館には売店はあるか。

回答 売店はないが自動販売機等は設置されると思う。野球場の横には既に自動販売機がある。(事務局)

意見 子どもを見守りながら、体育館や野球場の自動販売機まで行くのが大変だから、もう少し遊具の近くに自動販売機があっても良いと思う。

意見 健康器具を大人が利用している時に、子ども達がそれに付き合ってくれるか。

回答 整備事例の視察で姫路の公園へ行った時に、子ども連れのお父さんと出会ったが、健康器具を利用して屈伸がどこまでできたとか、あと少しで何センチなどと楽しみながら2人で利用していたので、同じように交流してもらいたい。(事務局)

意見 健康器具を利用しているのを見たのは、その時が初めてだった。

意見 こういった健康器具は他の公園でもそうだが、毎朝早くとか、夕方とかに定期的にならなく使われている。(大久保体器株式会社)

意見 三木山総合公園は、高齢者の皆さんの散歩コースにもなっている。

意見 朝に散歩してから、モーニングを食べに行かれる人も多い。

質問 子ども達が動き回る遊具はともかく、ずっと下を向いて遊ぶ砂場だけでも日陰ができないか。

回答 砂場の位置を変更して、日陰になるようにすることは可能。(大久保体器株式会社)

質問 鉄棒は無くなってきているのか。

回答 小さな公園にはあるが、大きな公園には設置していない傾向にあると思う。(大久保体器株式会社)

意見 イメージ図にはブランコもない。

意見 鉄棒とかブランコは近所の公園にあるから、わざわざ出かけていく公園には無くても、役割分担されていれば良いと思う。

意見 ブランコは安全上のスペースを広く設ける必要があるのと、監視できない中で子ども達に色んな使い方をされて危ないといった意見もある。

小野市のひまわりの丘公園では、当初はブランコが無かったが、ものすごい要望があって、幼児専用のブランコを後で設置した経緯がある。(大久保体器株式会社)

意見 障害をもっておられるお子さんなどは、ブランコが良いかも知れない。

意見 ブランコは、梁の高さが2 mだとしたら、前後に梁の高さプラス1.5 mなので前に3.5 m、後ろに3.5 mで、前後合わせて7 mと設置スペースが多く必要になってきて、そのスペースが大変もったいないということになる。

昔の公園のイメージでは、狭いスペースにでもできると思われがちだが、新しく設置する公園では、安全基準に沿った設置が必要になる。

意見 本日の午前中には、小学生ミーティングで小学生の意見を出してもらったが、先週には、特別支援学校に通う皆さんの意見も伺いに行った。

遊具に関して言えば、やっぱりブランコはみんな好きだそうで、先生方もブランコが欲しいなという意見もあるので、安全領域の条件もあるが、今回の工事が将来にでもブランコはどこかに設置できればという思いもある。

今の案の中から何かを減らすのか、それとも配置を見直すことで可能なのか、詳細な設計を進めていく中で、ブランコは検討したい。(事務局)

意見 ターザンロープの順番待ちはどう並ぶのか、登る階段も必要だと思う。

回答 午前中の小学生ミーティングでも、ターザンロープの滑走し始める台の上へのアプローチについて意見があったので、設置する形状などの変更も含めて検討する。

(大久保体器株式会社)

質問 すべり台の着地点など、何度も踏みしめる場所などに、雨天の後、水が溜まっていると思うが、そういった場所は危険回避の能力を高めるためにあっても良いのか。

回答 水溜りは危険個所と見なすので、現在の計画でも考えているがゴムマットのようなものを設置して、できるだけ水溜りができないようにしたい。(大久保体器株式会社)

意見 砂場の近くに水道があれば手を洗いやすいと思うが。

回答 午前中の小学生ミーティングでも同様の意見があったが、近くにトイレがあるので、そちらで手を洗っていただきたい。

しかし、小学生が出してくれた意見なので、砂場付近には「手を洗いましょう」という看板を設置したいと考えている。(事務局)

意見 午前中の小学生ミーティングで、大型複合遊具の上に上がっていくほど、ピノキオのお話が進んでいくようなパネルの設置という意見が出ていたと思うが、三田市にある有馬富士公園では鬼がキャラクターとしてパンフレットも作成されていて、みんなが鬼公園として親しんでいるので、キャラクターを作っても良いと思う。

テレビの「体で遊ぼう」という番組では、運動機能を伸ばす36の動きというアピールポイントを打ち出しているので、それを参考に三木山総合公園の遊具は〇〇個の運動機能を伸ばす遊具になっているなどのPRがあると良い。

【まとめ】

稲見部会長

親の視点で色々と意見をいただいた。

三つの視点を定めたが、一つ目の子どもの動きと親の見守りについては、安全のためのスペースの都合上、現在の配置で仕方ないかなという意見だったと思う。

二つ目として、リピート率の高い価値ある公園としては、親に優しい公園にすればというご意見で、芝生のエリアでテントなどを置けるスペースがあれば居心地が良いし、長時間の滞在も期待できるといったご意見であった。これは三つ目の長時間の滞在が可能な公園の環境にもつながる内容であった。

今日で、多世代交流施設の整備に関する議論は最後となるが、完成する10月を楽しみにして、業者の大久保体器さんと行政で検討を進めていただきたい。